

★ 操 作 方 法 ★

マンガのページの上でクリックすると次のページを表示します。右クリックすると前のページに戻ります。

※ Macintosh で、マウスに右クリックの設定をしていない方は、キーボードの「control」キーを押しながらマウスをクリックすると前のページに戻ります。

※ iPad では、上下スクロールでご覧いただけます。

ダークワールド

AIロボット

気がつく
この場所に
立っていた

ジャストピンチ



そこは一度も
来たことがない
場所だった

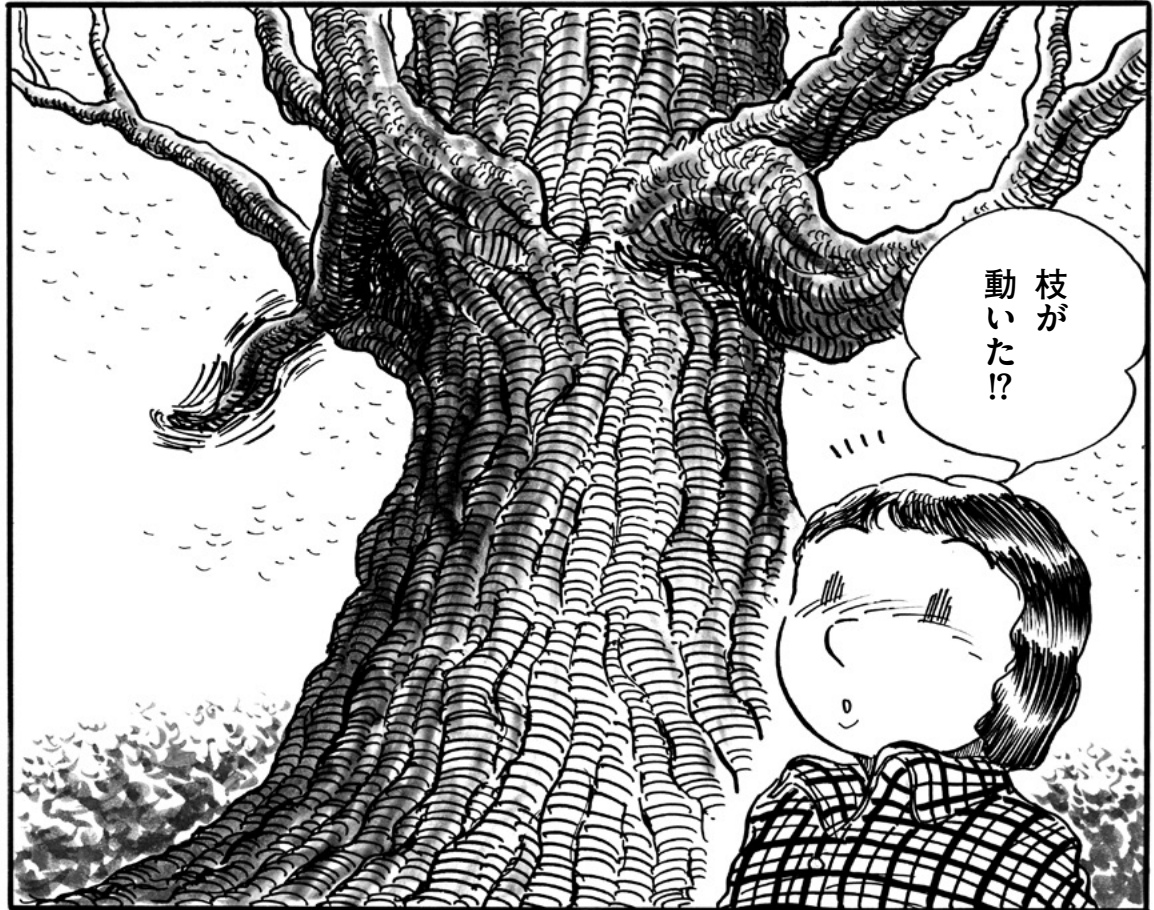
どうやって
来たのか
覚えていない



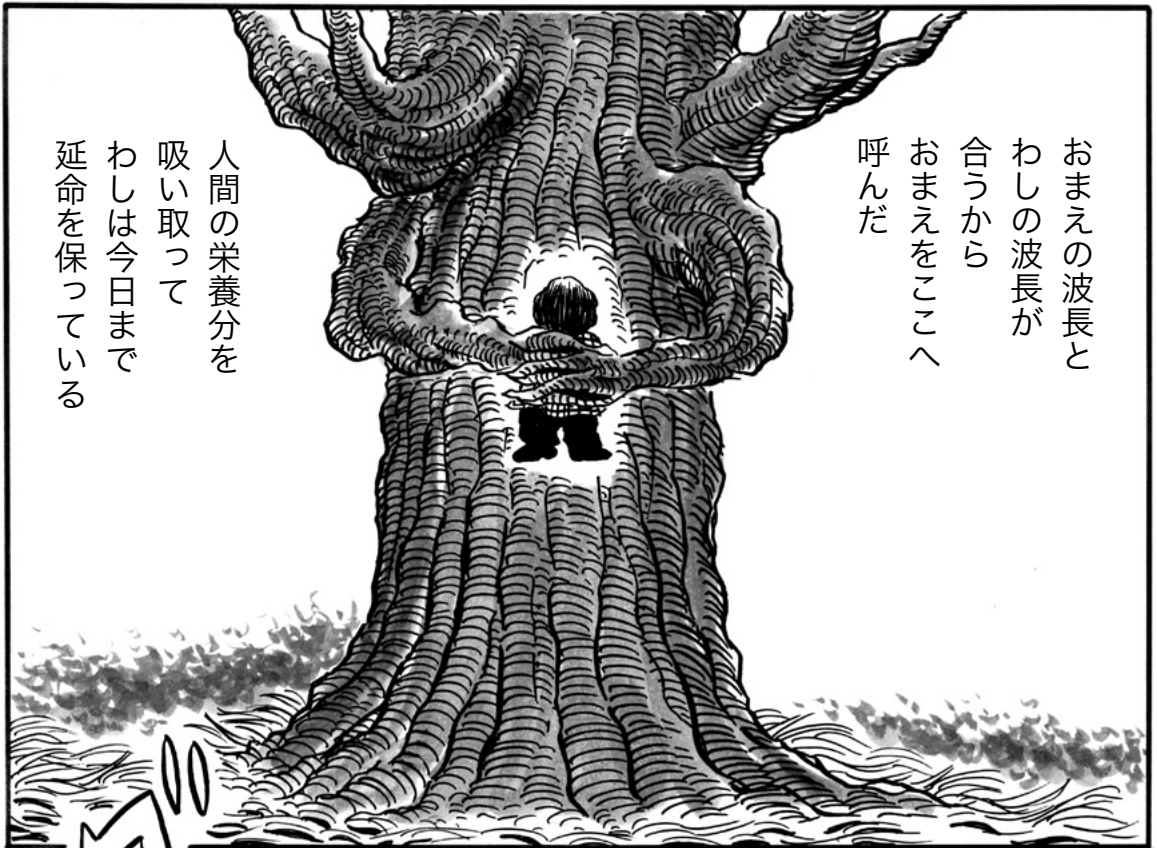
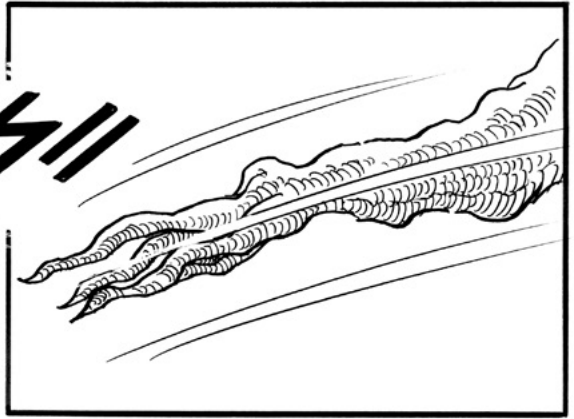
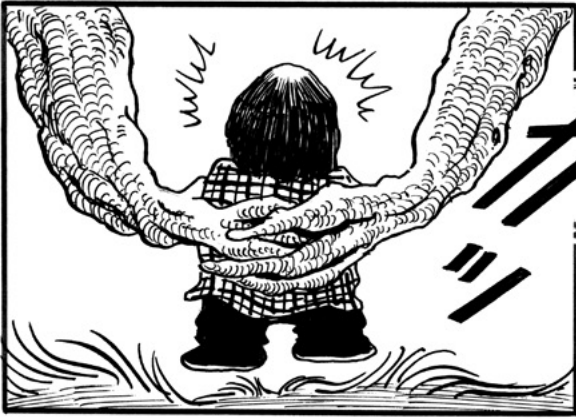
そのナニかが
なんなのか
分からない



ナニかに導かれて
ここまで来た
みたいだ



枝が
動いた!?

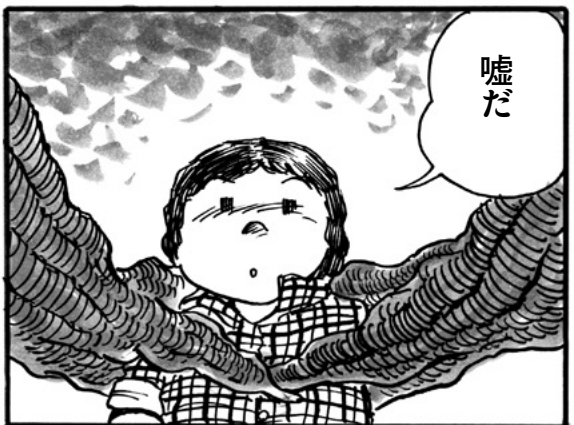


人間の栄養分を
吸い取って
わしは今日まで
延命を保っている

おまえの波長と
わしの波長が
合うから
おまえをここへ
呼んだ

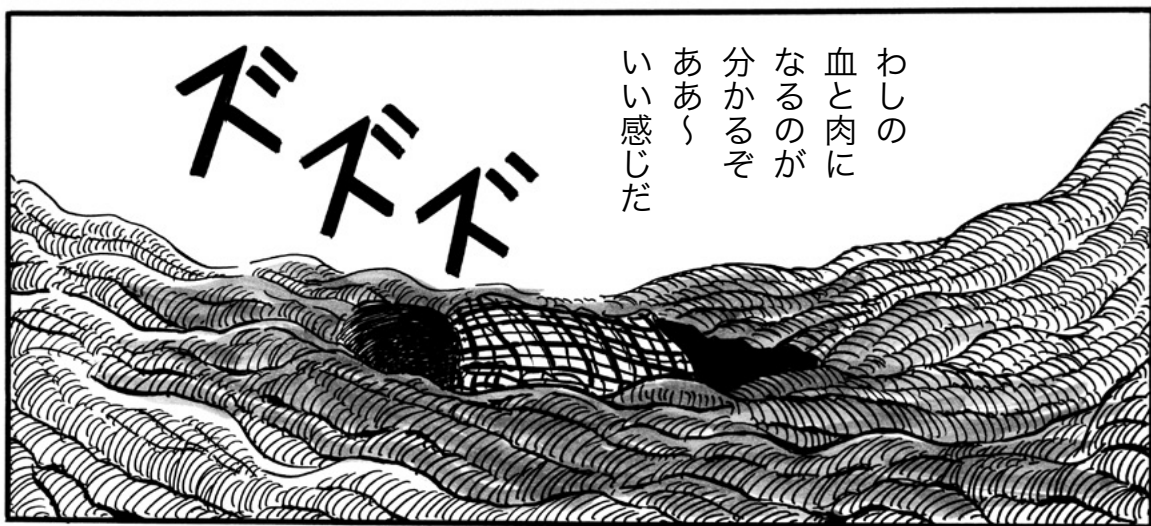
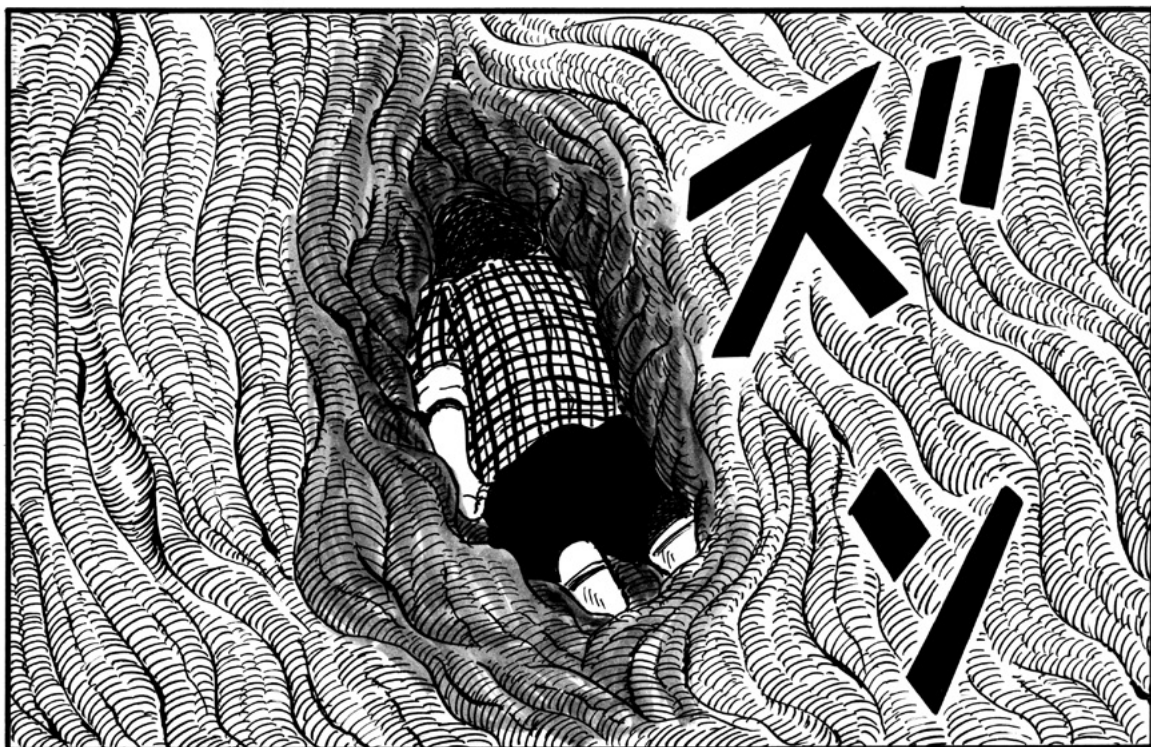
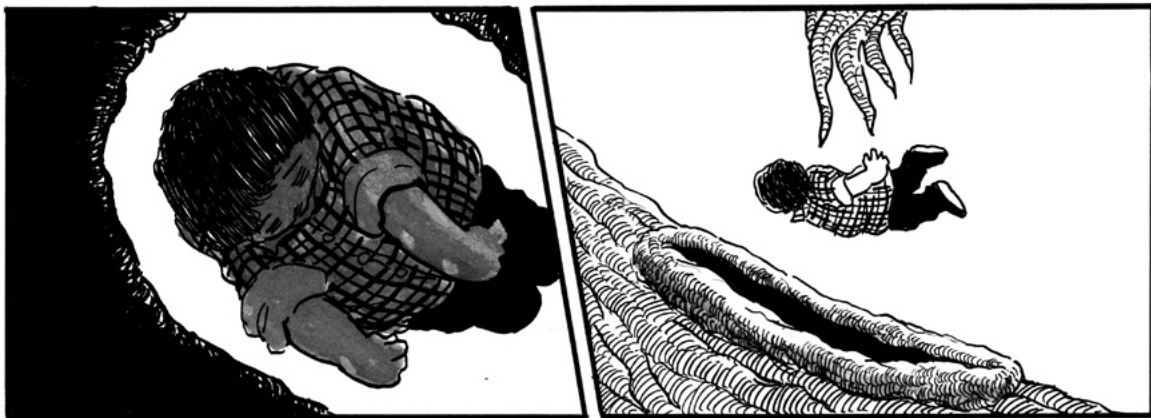


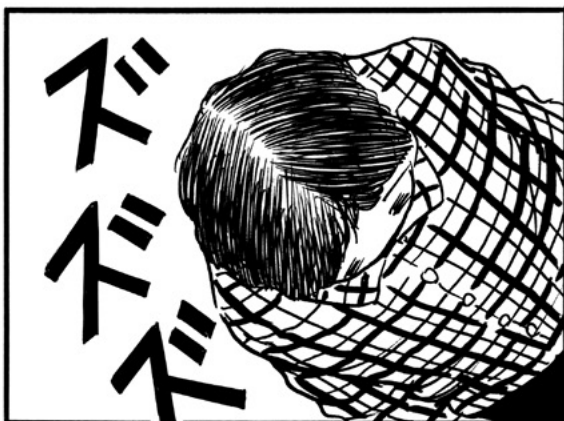
嘘だと
思うか



嘘だ





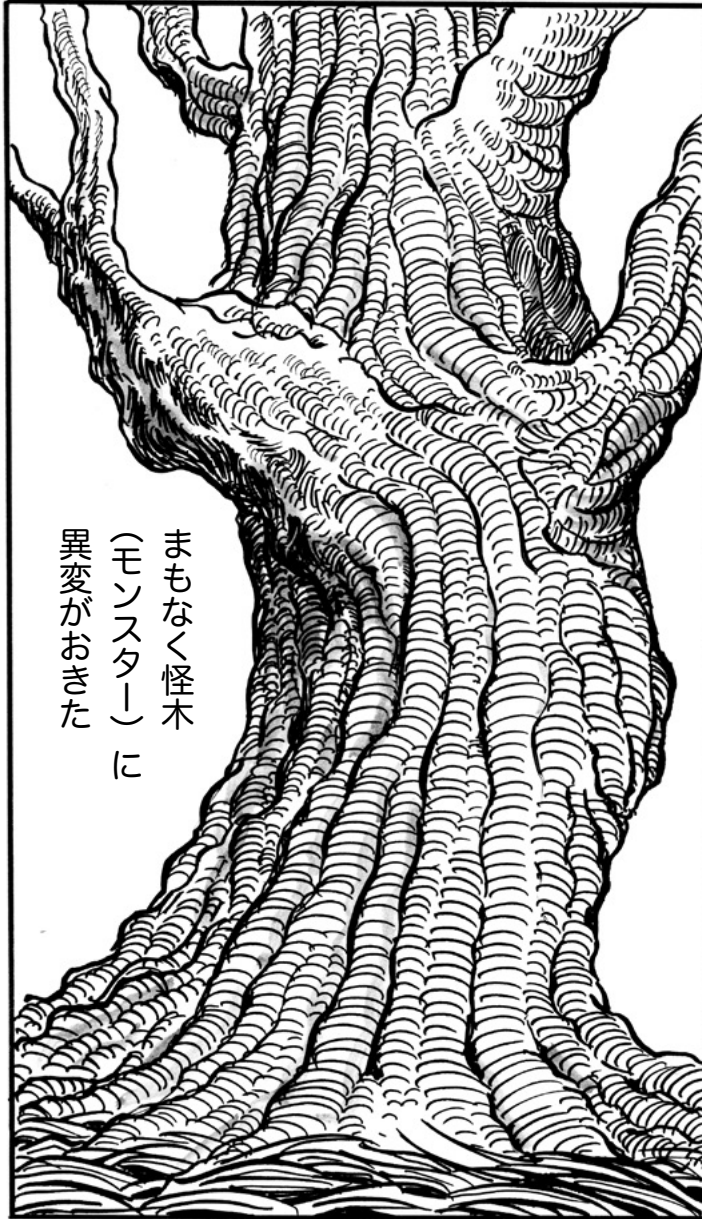




僕の体内には
枯葉剤が大量に
セツトされている



Aーロボット
だと!?



まもなく怪木
(モンスター)に
異変がおきた



体内の枯葉剤が
流出してすぐに
おまえの中に
浸透していくぞ



地球上に
おまえみたいな
モンスターが
住める
場所など
ない!!



将来AIロボットの
使い方の一例かも
知れませんがね

